

日本語中級 2（文章表現）

選択(2単位) 月2時限 教員氏名：徳増 紀子

開講年度 2017 年度

開講学期 2017 年度（後期）

【授業種別】 授業は、週1回(90分)で15週。欠席が3分の1以上の場合は不合格となる。遅刻と早退を計3回すると、1回の欠席となる。また30分以上の遅刻と早退は欠席とする。

【授業概要】 この授業は、日本語中級後期レベルの学生若しくは同レベルの日本語力の確実な定着を図る学生を対象とし、レポートの書き方の基本を学ぶ。漢字仮名まじり文で、既習文法を使って、テーマについて自ら調査し、構成や文体、レポート形式を意識して、ある程度の量のまとまりのある文章(1200字程度)を論理的に書くことを目標とする。

【授業計画】 参加者の進度によって変更する場合もあるが、現時点では以下のとおり。

- 第1週 オリエンテーション、自己紹介文作成
- 第2-4週 基本事項の確認（文法、語彙、文体）
- 第5-13週 文章作成（書式、論理の組み立て）
- 第14週 レポート作成、推敲
- 第15週 最終レポート発表、相互評価会

【授業内容】 まず、既習語彙・文法を用いた表現練習を行い、レポートに用いられる表現を確認した後、レポートを書くための一連の作業について学ぶ。課題文やレポート作成過程において、相互評価を行う。クラスメートとお互いに意見や感想を述べ合うことによって、個々の作文に対する振り返りを行い、評価シートを作成する。コース終了時には、最終レポートの発表と相互評価を行う。

【評価基準】 授業出席3分の2以上を評価対象とする。

評価は、課題（10%×4回）40%、最終レポート20%、宿題・提出物（評価シート）20%、平常点（出席、授業に対する取り組み、相互評価や話し合いへの積極的な参加）10%。課題提出締め切りに遅れた場合は減点とする。

S（100~90点） A（89~80点） B（79~70点） C（69~60点） D（59点以下）

【教材】 『改訂版留学生のための論理的な文章の書き方』（スリーエーネットワーク）

【その他】 質問等は授業後やメールで受け付ける。メールアドレスは初回授業時に伝える。